

Z会東大進学教室

難関国公立大・医学部英語／難関大英語 T

京大英語／難関大英語 T (京大)

一橋大英語／難関大英語 T (一橋大)



14章 総合問題 14

問題

【1】

A.

全訳

風は一度置き換えられた太陽エネルギーであるという事実に私たちは気づかなかったのかもしれない。そして、風が間接的な太陽エネルギーであるという概念は慣れることが難しい。

B.

全訳

日本人の科学者や実業家、産業経営者が摂氏を頭に入れておくことはかまわないが、道行く普通の日本人が、今日彼はどれだけ暑くあるいは寒く感じるのかを華氏で表現する権利を、絶えず奪われているのを見ることはほとんど耐えられない。

【2】

解答

(1) a

(2) 受刑者は必ず追跡調査が行え、また何らかの見返りを求めて被験者になりたがるから。(39字)

(3) 「全訳」の下線部㉔を参照。

(4) 連邦政府の規定では、受刑者を被験者とできるのは、直接的な治療効果が期待できる場合のみなのに、治療効果のない偽薬を使ったのは規定違反であり、また被験者である受刑者が未成年であったので、自発的に同意をしたかも疑わしい。

解説

(1) subjects の定義として正しいものを選ぶ問題。日頃から英英辞典を併用することが最高の対策方法。この設問は一橋大の得意な多義語の問題の一種と考えることもできる。一橋大は多義語をマスターしないと合格は容易ではない。

a 「実験などにおいて、subjects は行動・反応が研究され、検査される人間または動物のことである。」

つまり、この subject は「実験材料になる人〔動物〕；被験者」にあたる。

b 「話し合いや手紙や本などの subjects は、話し合われたり、書かれたり、考えられたりしている事物や人、考えや問題、出来事のことである。」

つまり「主題；テーマ；議題；話題」のことである。

c 「国家の subjects は、最高統括者以外の国家の構成員のことである。」

つまり「臣民；(君主国の) 国民」のことである。他の国では citizen を用いる場合でも、イギリス人は subject を用いることがあるというのは米国人インフォーマントの貴重なコメント。

下線部④のある文は「論争となったのは、報道によるとこの研究者は、服用量を偽薬と言ってよいくらい、効果の低い服用量とし、意図的にこの薬品による治療効果を被験者が得られないようにしたことを自ら認めたという点である。」という意味。

よってこの subject の定義としては a が正解。

- (2) 下線部⑤の意味は「1980年代初頭以前は、受刑者は恰好の被験者と考えられていた。」である。その理由は、直後のℓ. 13～16の2文に書かれている。したがって

- ①「受刑者は必ず追跡調査が行える」
- ②「受刑者は、さまざまな理由で被験者になりたがる」

この2点を40字以内でまとめればよい。

- (3) For research

↑ into ways
↑ to control aggression?

この for は「目的」を表し、「～にとって〔～のために〕」であって、to control aggression の意味上の主語ではない。

whom is it better to study
and
who is more likely to benefit } than aggressive prisoners?

この2つの疑問文に対する直接の答えは書いていないので、「修辞疑問文」と考える。

- (4) 第3段落の第1, 2文 … ①

第5段落の第2, 3文 … ②

をまとめればよい。本問には字数制限がないが、字数制限が厳しければ①のみをまとめることになる。

全訳

最近の専門家会議で、スタンフォード大学のある研究者が、攻撃抑制剤の効果に関する実験の結果を話題にした。困ったことに、この実験はカリフォルニア州にある刑務所に収監されている未成年者を対象に行われたために、法律上および倫理上に多くの問題が生じたのである。

スタンフォード大学のその研究では、未成年被収容者の複数グループに服用量を変えて、攻撃抑制剤を投与し、彼らの行動に対する効果を調べたのであった。論争となったのは、報道によるとこの研究者は、服用量を偽薬と言ってよいくらい、効果の低い服用量とし、意図的にこの薬品による治療効果を被験者が得られないようにしたことを自ら認めたという点である。

アメリカ合衆国連邦政府の法規では、刑務所内での研究は、極めて制限された状況下においてのみ、具体的に言えば、被験者が直接的な治療効果を得られる見込みが得られる場合において、許可されているのである。つまり、偽薬による対照実験は許可されていないことになる。

刑務所での研究は、かつては常にこれほど制約があるわけではなかった。1980年代初頭以前は、受刑者は恰好の被験者と考えられていた。受刑者は制御された環境を提供してくれる、つまり、どの受刑者も「行方不明になって調査不能」という結果には至らないと思われ

ていた。受刑者は、臨時収入その他の形態での収入を得るためであれ、過去の自分の行動の償いをするためであれ、治療を受けるチャンスを増やすためであれ、極めて積極的な被験者であったのだ。もっとはっきり言えば、1980年代初頭に行われた調査が明らかにしているのだが、研究への参加は、広く行われ、また高く評価される活動であった。そして屈強な収監者であればあるほど、研究の被験者になる可能性は高かったのである。

しかし、このような動機づけこそがまさしく、憂慮した監視官が受刑者の研究への参加を制限する方向に動いた理由なのである。自由が極めて厳しく制限されている状況下で、被験者はいかにして真の意味での自発的な同意をすることができるのだろうか。スタンフォード大学の研究ケースでは、受刑者が未成年であったということもあり、同意の問題は二重の複雑さを呈することになる。

スタンフォード大学の研究者は、研究目的に関しては、いまだ何ら見解を述べてはいないが、収監者を複数の理由から望ましい被験者と考えていたふしがある。◎攻撃性を抑制する方法の研究にとって、攻撃的な受刑者ほど研究対象としてふさわしく、被験者自身として恩恵を得る可能性が高い者はいるだろうか。しかしながら、この研究者が行ったように、偽って規制を破ることは、被験者のみならず、こうした研究の将来も完全にだめにしてしまうという危険を冒しているのである。

注

- ℓ. 1 ◇ Stanford University 「スタンフォード大学」
○ California 州 Palo Alto にある私立の総合大学。鉄道事業家の Leland Stanford 夫妻が夭逝した一人息子の記念のために 1891 年設立。
◇ researcher = a person who researches something
○ research = study a subject in detail, especially in order to discover new facts or test new ideas
- ℓ. 2 ◇ aggression = hostile or destructive behavior or actions
◇ The trouble is that … : used when saying what is bad about a person or situation or what causes problems
- ℓ. 3 ◇ carry out = do a thing (a plan, a threat, a promise, an order, etc.) or get it done ; continue to the end
◇ on = about ; concerning
◇ inmate [ínmèit] = a person living in a institution such as a prison or hospital
◇ ethical = having to do with morals or ethics
○ ethics = rules of conduct and behavior
- ℓ. 5 ◇ varying = different
◇ dose [dóus] = a quantity [an amount] of a medicine or drug taken at one time
◇ anti- = ① opposed to ; against ② preventing or relieving ③ the opposite of
- ℓ. 6 ◇ assess = evaluate or estimate the value, importance, or quality of something
◇ controversy [ká:ntɹəvɜ:rsi] = public debate about a matter which arouses strongly opposing opinions
◇ lie in = be found in

- ℓ. 7 ◇ that … 同格の名詞節を導く接続詞
 ◇ reportedly = according to what some people say
 ◇ set = put in a condition or position suitable for use or action
- ℓ. 8 ◇ intentionally = on purpose
 ◇ deny = refuse to give (something desired)
- ℓ. 9 ◇ federal regulations 「連邦の法規」
 ○ relating to the central government of a country such as the U.S., rather than the government of one of its states
 ○ regulation = a rule made by an authority
 ※米国の法律は全国に適用される「連邦法」と、州のみで適用される「州法」がある。
 ◇ limited = not very great in amount, number, ability, etc.
 ◇ conditions = circumstances affecting something
- ℓ. 10 ◇ prospect = the possibility of something occurring
- ℓ. 11 ◇ control = limit or regulate
 ◇ trial = a test of performance, qualities, or suitability
- ℓ. 13 ◇ population = ① all the inhabitants of a place ② a particular group within this
- ℓ. 14 ◇ would … 「推量」を表す助動詞 will の現在形が時制の一致で would となったもの。
 ◇ be lost to = be no longer possible or open to
 ◇ follow-up 「追跡調査」
cf. follow up = pursue further
 ◇ motivated = very keen to do something or achieve something, especially because one finds it interesting or exciting
- ℓ. 15 ◇ whether to do A, B, or C 「AするためであれBするためであれ, Cするためであれ」
 ○譲歩の副詞節の主語と動詞が省略された形。このように whether … or … は3つの選択にも用いられる。
 ◇ make up for = do something to show that one is sorry for doing something that upset or annoyed someone
- ℓ. 16 ◇ access = the opportunity to use something
 ◇ in fact … used one is adding something, especially something surprising
 ◇ study = a research ; a detailed investigation and analysis of a subject or situation
- ℓ. 17 ◇ demonstrate [dɛmənstreɪt] = clearly show that something exists or is true
- ℓ. 19 ◇ motivation = the reason or reasons behind one's action or behavior
 ◇ why の前に the reason を補って考える。
 ◇ concerned = showing concern or interest in public affairs
 ◇ regulator = someone who makes sure that a system operates properly or fairly
- ℓ. 20 ◇ How can subjects give truly voluntary consent in a setting where freedom is so severely constrained?
 ○修辭疑問文
 ○ voluntary = done or acting of one's own free will

- consent = agreement or permission
- setting = surroundings ; background
- constrained = forced, uneasy, unnatural
- constrain = force to do something
- ℓ. 22 ◇ doubly = in two ways or two reasons
 - ◇ complicated = complex
- ℓ. 23 ◇ comment on = make comments on ; give one's opinion
 - ◇ might have 過去分詞「…したかもしれなかった」
 - 現時点での過去に対する推量。
 - 婉曲。
- ℓ. 24 ◇ for = showing purpose, aim or intention
- ℓ. 25 ◇ whom is it better to study and who is more likely to benefit than aggressive prisoners?
 - 修辭疑問文。
 - it は to study を指す。
 - study の目的語が whom。
 - benefit = receive benefit
 - cf. benefit *n.* = advantage
- ℓ. 26 ◇ deceitfully = in a deceitful way
 - cf. deceitful = ready to tell lies or deceive
 - ◇ did は broke the rules を指す。
 - ◇ run the risk of something = do something although something bad might happen because of it
- ℓ. 27 ◇ not only A but B … used to say two things when the first is known already but the second is new and surprising
 - ◇ altogether = completely

【3】

ポイント

(1) は「…ようだ」「…そうだ (推量)」の構文がわかれば問題ないだろう。(2) は「…してもいい頃だ」の構文を用いる。(3) は後半部の意味を補って訳す必要がある。(4) は条件節を用いない仮定法の形がポイントである。

解答

- (1) Yesterday's weather forecast appears to be correct. We might have rain this afternoon.
- (2) It's about time her answer reached me. It was ten days ago that I wrote to her.
- (3) I don't know for certain where he is from, but judging from his accent I guess he is from the Tohoku region.
- (4) "Could you lend me 50,000 yen till the end of the month?" "I wish I could, but I'm broke, too."

別解

- (1) It seems the weather report yesterday was right. It looks like rain this afternoon.
- (2) It's about time her reply arrived because I wrote to her ten days ago.
- (3) I don't know for sure where he is from, but his accent suggests that he is from the Tohoku area.
- (4) "Do you think you could lend me 50,000 yen till the end of the month?" "I really would like to, but I'm hard up myself."

解説

- (1) 「昨日の天気予報」「昨日の」は yesterday を所有格 yesterday's としてもよいし、そのままの形で形容詞的に the weather forecast の後に置いてもよい。「天気予報」は weather forecast [report]。
「当たる」は「正しい」という意味の形容詞で表現すればよい。be correct ; be accurate ; be right など。
「…のようだ」 S seem [appear] + (to be) …, または It seems [appears] (that) …の構文にすれば問題はない。
「雨になりそうだ」は「雨が降りそうだ」とすればよい。「雨が降る」は it rains や we have rain。これに「…しそうだ」という表現を付け加える。it is likely to rain ; we might have rain など。It looks like rain. のようにもできる。
- (2) It is high [about] time …で「もう…してもよい頃だ；もう…すべき時間だ」という意味を表すことができるが、この場合 It is high [about] time に続く節内の動詞は仮定法過去になることに注意。
「彼女からの返事」は her answer, 「(私に) 届く」は reach me ; arrive など。
「手紙を出したのは10日前」は I wrote to her (as long as) ten days ago でもよいが、「10日前」を強める強調構文にして it was ten days ago that …としたり, ten days have passed since I wrote to her とすることもできる。
- (3) 「…(なの) か確かなことはわからない」は, I don't know for sure [certain] + wh- 節, あるいは I am not (quite) sure + wh- 節といった形にする。「彼がどこの出身か」は where he is from でよい。
「なまりからすると…ではないでしょうか」は I guess [would say] (that) … judging from his accent のように I を主語にすることもできるし, his accent (彼のなまり) を主語にして his accent suggests that …とすることもできる。
「東北地方(だ)」は「彼が東北地方の出身だ」ということだから, that he is from the Tohoku region [area] となる。
- (4) 「用立ててもらえないだろうか」「用立てる」とはつまり「貸す」ということ。Would [Could] you lend me ~? や Could I borrow ~? といった依頼の表現にする。このように、表現を丁寧にするために使う助動詞の過去形も一種の仮定法である。「もし可能ならば」という仮定が言外に含まれている。
「そうしてやりたいんだが」I wish I could とか I really would like to などとする。wish に続く節は、仮定法となる。

「ピンチ」「金に困っている；文無しの」と考えて be broke や be hard up といった口語表現で表すとよい。

【4】

解答・解説

(1) with

「この点ではあなたに賛成だ。」

agree with A 「Aと意見が一致する」

agree to A 「Aに同意する」

agree on A 「Aについて意見が一致する」

※主語にくる人間が，Aに参加する場合は to である。

(2) Between

「ここだけの話だが，彼は頼りにならない人だ。」

○ between ourselves 「ここだけの話だが」 = between you and me

cf. keep A to oneself (Aを秘密にしておく)

(3) in

「その電車に乗るために私は急いでいる。」

○ in a hurry 「急いで」

(4) under

「そのビルは建設中だ。」

「～中の」の意を表す under。

(5) against

「ヨットは青空をバックにして真っ白に見えた。」

「～を背景にして」の意を表す against。

(6) for

「あなたは私の意見に賛成ですか，反対ですか。」

‘賛成・支持・味方’を表す for。⇔ against

cf. I am *with* you. (私はあなたに賛成だ。)

(7) into

「この英文を日本語に訳せ。」

○ put A into B 「AをBに翻訳する」 = translate A into B

(8) at

「私に払えるのはせいぜい1,000ドルです。」

○ at most 「せいぜい；多くても」 ⇔ at least

(9) for

「なぜこれが欲しいのですか。」

○ What … for? 「なぜ」 = Why …?

【5】

解答

- (1) behind (2) keep (3) domestic (4) line
 (5) work (6) turn (7) train

解説

- (1) behind : ①「～の後ろに」②「～のあとに」③「～に遅れて」④「～の背後に；～の陰に」⑤「～を支持して」
 (a) 大統領の新しい外交政策は大変人気が高い。ほとんどの国民が彼を支持している。
 [⑤]
 (b) スピードを上げて！ 私たちはもうすでに20分も遅れているんだ。[③]
 (c) おかしな音が聞こえた。家の裏を見て！ [①]
 (d) 彼の攻撃的な態度の陰には、彼の自信のなさがひそんでいる。[④]
- (2) (a) 彼女は母を手伝って家事を切り盛りしている。
 ○ keep house 「家事を切り盛りする」
 (b) ボートが転覆しないよう、我々は皆座っていた。
 ○ keep A from …ing 「Aが…するのを妨げる」
 (c) 日本では車は左側通行だ。
 ○ keep left 「左側通行で」
 (d) 暑い夏にどうやって涼しさを保ちますか。
 ○ keep cool 「涼しさを保つ」
- (3) domestic : ①「家庭の；家庭向きの」②「飼い馴らされた」③「国内の」
 (a) この製品は輸出されていない。国内用のみである。[③]
 (b) 全日空はかつて国内線の航空会社だったが、今は海外へも飛んでいる。[③]
 (c) あの男性は、料理や掃除などの家庭の雑仕事がとても得意である。[①]
 ○ chore [tʃɔːr] 「雑用」
 (d) 牛、馬、犬、猫は家で飼える動物である。[②]
- (4) (a) 吹雪のため電話線がすべて不通になり、市内の電話は現在すべて故障している。
 (b) スマップのコンサートのチケットをとるのに、長い列に並ばなければならなかった。
 (c) 彼女のコートは簡素なウール製に見えるが、全体が毛皮で縁取られていて、大変高価なものである。
 (d) もしボールが線を横切れば、あなたはゲームに負ける。
- (5) (a) 不況の折りには、仕事を見つけるのが難しかった。work U 「仕事」
 (b) たいていの日本国民は、総理大臣が提案している行政改革はうまくいかないだろうと考えている。
 「機能する」の意の自動詞。
 ○ administrative [ədmiːnɪs'treɪtɪv] 「行政の」
 (c) ピクニックに行けなくてごめんなさい。今日は働かなくてはいけいないの。
 (d) 第九は日本ではベートーベンの最も有名な作品だと思う。work C 「作品」

- (6) (a) 我慢して自分の順番を待ちなさい。〔名詞〕
(b) 世紀の変わり目の際、パリは最も美しい街であった。
〔名詞〕「曲がり角→変わり目」
(c) 私たちは彼女の住所を調べるのに、あらゆる種類の手を尽くしてみたが、毎回失敗に終わった。
〔名詞〕「番；機会」
(d) 挑戦することから決して逃げてはいけない。
〔他動詞〕turn *one's* back on ~ 「～から逃げる」
- (7) (a) 青森行きの電車に乗らなくてはなりません。さようなら！
(b) 私の一連の考えは電話のベルによって妨げられた。
「(観念などの) 連続」の意。
(c) 私はコンディションが十分でないとコーチが言った。もっと練習をしなければならぬ。
〔自動詞〕「訓練する」
(d) 女性は今や、大工仕事、ビル建築、そしてさらに危険な仕事分野において訓練を受けている。

15章 総合問題 15

問題

【1】

A.

全訳

確かに、外国の文化を本当に理解するには、特別な努力を要する。「文化的差異」に関する多くの議論は、例えば食物や衣服の違いといったように、思想面よりむしろ物質面に集中しがちである。世界中の人々は皆ほとんど同じように考え、感じ、振る舞うのであり、人々を他と異ならしめているのは外見だけなのだ、という誤った考え方が時にはされることもある。

B.

全訳

我々の「考え」に対する認識と「書物」に対する認識との間には、非常に強く、かつ広範にわたる観念的なつながりが存在する。記録物は一種の外部記憶装置であり、記憶は内部記録であると解されている。文書は紙の上での思考であり、思考は頭の中での書き物であると解されている。この観念的なつながりによって、著作物はその著者の代わりとなるもの、またはその著者の本質であるとさえ見なされる。すなわちその著者の頭は、彼または彼女が書き付けることによって内的な文書となる無限の紙であり、その著者の記す本は外的な頭脳、つまりその文書の外部に表れた形態なのである。

【2】

解答

- (1) ①ギリシア人にとって“character”という語は、最初は硬貨に押された刻印を表しており、その後、人間に刻まれたさまざまな特性を意味するようになった。
- ②その神殿は確かにその風景の中心になった。神殿は、建築家の才能によって、風景における最も重要なものになった。しかし、神殿は常にその風景の中の一部であった。
- (2) ギリシア時代の建築物は、神殿でも、位置・大きさなど常に全体との調和を考え、背景の一部として造られたが、中世以降は、大聖堂なども便利な場所であれば周囲の風景との調和を考慮せず、その建物本位に建てられた。(100字)

解説

- (1) ①○ To them it stood first for the mark (stamped upon the coin),
= character and
then for the impress of this or that quality upon a man
- them は the Greeks を指す。
- it は、前文 what it means to us の it と同じもの、つまり character を指す。
- stand for は「～を表す〔意味する〕」の意。and の後ろでは for が繰り返されている。
- mark 「印」 stamped upon the coin は mark を後ろから修飾している。

- 順序を表す語 first (最初に) と then (次に) が挿入されていることに注目。
- impress は「刻印」という意味の名詞。ここでは、人に刻み込まれた特質のことを言っている。
- this or that 「あれこれの」
- quality 「特性」
- ⑥○ It dominated the scene, indeed;
 - = the temple
 - it became <through his genius> the most important feature in it,
 - = the temple
 - = the scene
 - but it was always a part of it.
 - = the temple
 - = the scene
- 前文とのつながりから、文頭の it は建築家が建設した神殿 (the temple) を指していると思われる。2つ目の it も同様に the temple のことを言っている。
- 3つ目の it は「その中で最も重要なものになった」という文脈なので、セミコロンの前にある the scene を指している。
- この文が the temple と the scene の関係性を述べていることが理解できれば、4つ目の it が the temple を、5つ目の it が the scene を指していることがわかる。
- dominate ~ 「~を支配する」ここでは直訳をすると不自然な日本語になるので、「その風景の中心にあった」などとするとよい。
- indeed ~ but … 「確かに [なるほど] ~だが…」譲歩を表す indeed の用法。
- through his genius 「彼 (建築家) の才能によって」
- feature 「特徴」

(2) l. 7 our way ⇔ l. 8 the Greeks, l. 9 their art ⇔ l. 10 ours, l. 10 the greatest buildings … the Middle Ages ⇔ l. 17 to the Greek architect the setting of his temple など対比している対象が明確である。また l. 22 But (逆接の接続詞) にも注目。

○詳しくは第2段落の Architecture, perhaps, is the clearest illustration. 以降の内容から、ギリシア時代と中世以降の建築観の違いを読み取る。この文に続く The greatest buildings since Greek days, the cathedrals of the Middle Ages, were built … から It was not part of a whole to them; it was the whole. までは、「中世以降の大聖堂」について述べられている。そして、逆接の接続詞 But で始まる文、すなわち But to the Greek architect the setting of his temple was all-important. から最終文までは、「ギリシア時代の神殿」について述べられている。

○以下に挙げるような相違点を読み取れる。最も重要なポイントは「周囲との調和を考慮に入れるか」ということに対する考え方の違い。

<中世の大聖堂>

◇場所を考慮に入れず、便利なところならどこでも無作為に建設された。

○低地の、乱立した古い民家の真ん中に建てられた。

○周囲との調和が取れておらず、目立っていた。

○建築家は自身の建てる聖堂だけに注意を払い、周囲との調和は考えなかった。

<ギリシア時代の神殿>

◇神殿の位置は極めて重要であった。

○海や空などの背景に輪郭を描き、平地や広大な高地の位置によって大きさを決めていた。

○神殿はその場における主要なものとなっているが、あくまでも風景の中の一部であった。

○建築家は神殿のことだけを考えるのではなく、周囲との関係の中で神殿を捉えた。

全訳

character はギリシア語であるが、ギリシア人にとっては、私たちとは違った意味を持っていた。④ギリシア人にとってそれは、最初は硬貨に押された刻印を表しており、その後、人間に刻まれたさまざまな特性を意味するようになった。私たちにとって、ある人の character (特質) とはその人特有のものであり、個人を他人から区別するものである。私たちは人々の特徴、すなわち、個々の人が持っている、一般の人とは違うものに関心を抱く。一方ギリシア人は、その人がすべての人類と共通して持っている資質こそがまさに大切なものなのだと考えた。

この違いは極めて重要である。私たちの方法は、個々のものをそれぞれ単独のものとして考える。対してギリシア人は、常に物事を全体の一部として捉え、この考え方は彼らの行動すべてに刻み込まれている。これは、ギリシア人と私たちの芸術活動の違いの根本にある要因である。おそらく、建築が最もはっきりとした例として挙げられるだろう。ギリシア時代以降の最大の建造物である中世の大聖堂は、場所をまったく考慮に入れることなく、便利な場所ならどこでも手当たり次第に建設されたように見えるだろう。ほとんどいつも大聖堂は、低地で、多くはその大聖堂と同じくらいか、もっと古い小さな民家が建ち並んでいる中ほどにあり、周囲との調和が取れていないので目立っていた。建築物の場所は建築家の計画には盛り込まれなかったのである。彼らは、大聖堂そのものにしか関心がなかった。周りのものに関連付けて大聖堂を捉えるなどということは、まったく思いつきもしなかった。彼らにとって、大聖堂は全体の一部ではなく、それ自体が全体なのであった。しかしギリシアの建築家にとっては、自身の建てる神殿の位置は極めて重要な事項であった。彼は海や空を背景にして神殿の明確な輪郭を頭の中で描いたり、丘の上の平地かアクロポリスにある広大な高地といった場所によって神殿の大きさを決定したりして、神殿の建設計画を練った。⑤それは確かにその風景の中心になった。それは、建築家の才能によって、風景における最も重要なものになった。しかし、神殿は常にその中の一部であった。建築家は、神殿をただ自分が作っている建物として、それだけで、またそれだけのために考えるということはしなかった。彼は丘や海や大空と関連づけて神殿を考えたのだ。

注

- ℓ. 3 ◇ peculiarly cf. peculiar = of only one person or thing, exclusive
- ℓ. 6 ◇ precisely = used to emphasize that a particular thing is completely true or correct
- ℓ. 9 ◇ underlying cause = the cause that is the most important, although it is not easily noticed

ℓ. 10 ◇ The greatest buildings since Greek days, the cathedrals of the Middle Ages,

S

└ 言い換え

were built, <it would seem>.

V

挿入

without any regard to their situation,
placed haphazard,
wherever it was convenient.

} 同様の内容を繰り返すことで
筆者の意図が強調される。

ℓ. 11 ◇ cathedral 「大聖堂」 アクセント注意。

ℓ. 12 ◇ haphazard = with no particular order or plan

ℓ. 18 ◇ all-important = extremely important

ℓ. 19 ◇ acropolis 「アクロポリス」 古代ギリシャ都市の城砦。

ℓ. 22 ◇ arch 「アーチ形のもの」

【3】

ポイント

(2) は無生物主語にする可能性も思いついただろうか。(4) は仮定法がポイント。

解答

- (1) He asked me if I could guess who he had bought that bunch of flowers for.
- (2) A slip of the tongue put me in an awkward situation.
- (3) I can't see why people get so excited over an actress's divorce. It's the kind of thing you hear about every day.
- (4) The room was without air conditioning. It was so hot that I felt as if I were in a sauna.

別解

- (1) He said to me, "Guess who I bought this bouquet for."
- (2) I let something slip, which put me in a difficult position.
- (3) I wonder why they make such a fuss about an actress's divorce. It happens all the time.
- (4) The room was not air-conditioned. It was as hot as a steam bath.

解説

(1) 直接話法で表してもよいし、間接話法で表すこともできる。どちらも wh- 節が guess の目的語になった形である。間接話法にする場合、今も目の前にあるのでなければ、「この花束」は that bunch of flowers となることに注意。「解答」を直接話法にすると He said to me, "Can you guess who I bought this bunch of flowers for?" のようになる。「別解」を間接話法に直すと、He told me to guess who he had bought that bouquet for. のようになるが、「Guess who …」という言い方は、形は命令文でも疑問文に近い意味を表すので、He asked me to guess who … とする方が日本文に近い。

- (2) 文の組み立て方としては、「うっかり口をすべらせること」を主語とする無生物主語構文にして、続けて「そしてそのことが私をまずい立場に追い込んだ」とすれば後半を能動態で表すことができる。他には「うっかり口をすべらせたおかげで」を理由を表す副詞節にし、「まずいことになってしまった」を「私がまずい立場に追い込まれた」と「私」を主語とする受動態で表すことも考えられる。

「うっかり口をすべらせたおかげで」は、無生物主語構文にするなら a slip of the tongue を主語にするのが適切。「私」を主語にするなら、make a slip of the tongue や let something slip といった表現を続けるとよい。あるいは「ふとしたことから言うべきでないことをしゃべってしまった」と考えて accidentally said something I should not have (said) のようにすることもできる。

「まずいことになってしまった」「口をすべらせたこと」が主語なら put me in an awkward situation (私を厄介な状況に置く) のようにする。「私」を主語にして、これを受動態にしてもよい。

- (3) 「女優が離婚したからといって」「…とって」の部分はそのままでは英語にしにくい。「女優の離婚について大騒ぎをする」と考えて over [about] an actress's divorce と名詞句で簡単に表すとよい。

「どうして…だろう」Why …? という疑問文にしてもよいし、I wonder why …, I can't see why …といった間接疑問文にしてもよい。

「大騒ぎをする」people, they, everyoneなどを主語とし、get (so) excited over ~, または make (such) a fuss over [about] ~と続ける。

「よくある話じゃないか」「～じゃないか」は日本語特有の語尾なので、特に訳す必要はない。「いつも耳にする類のことだ」「いつでも起こっている」のように読み換え、関係詞を使って表すと It's the kind of thing (which) you [we] hear about every day. とか、It's the kind of thing that happens all the time. のようになる。関係詞を使わずに It happens all the time. としたり、「よくある話」を「日常的な出来事」として It's (just) an everyday occurrence. としてもよい。

- (4) 全体の構成としては、「その部屋には冷房がなかった」と「まるで蒸し風呂にいるように暑かった」に分けて訳すとよい。

「その部屋には冷房がなかった」air-conditioned *adj.* や air conditioning *n.* を使って表す。the room を主語にして the room wasn't air-conditioned や、the room didn't have [was without] air conditioning とする。

「まるで蒸し風呂にいるような暑さだった」「まるで…のような」からわかるように、「蒸し風呂にいる」は事実とは異なることを述べているので、as if [though] …という仮定法の表現を用いる。主節が表す時 (= 暑さを感じた時) と同じ時の内容なので、as if [though] 節内の動詞は仮定法過去になる。「蒸し風呂」は a sauna や a steam bath と言う。英文の組み立てとしては「あまりにも暑かったので蒸し風呂にいるような感じがした」と考えて so ~ that …の構造にするとよい。It was so hot that I felt as if I were in a sauna. のようになる。あるいは「その部屋」と「蒸し風呂」の比較と考え、as ~ as … の表現を使って It was as hot as a sauna. としてもよい。

【4】

解答

- (1) **b** (2) **c** (3) **d** (4) **d** (5) **c**
 (6) **d** (7) **b** (8) **c** (9) **d** (10) **b**

解説

- (1) 「このCD プレーヤーは修理が必要だ。」
 ○ need …ing 「…される必要がある」 = need to be 過去分詞
- (2) 「彼を見ると私の死んだ父親のことを思い出す。」
 ○ remind A of B 「AにBのことを思い起こさせる」
- (3) 「グランドは水溜まりでいっぱいだ。昨夜雨が降ったに違いない。」
a should have 過去分詞 「…したはずだ」
b cannot have 過去分詞 「…したはずがない」
c ought to have 過去分詞 「…すべきだったのに」
d must have 過去分詞 「…したに違いない」
- (4) 「彼がドアのところに着るとすぐに、彼女はドアを静かに開けた。」
 空所に続くのは文ではないので、前置詞がくる。文意から「(…すると) すぐに」の意味の **d** On が正解。
- (5) 「雨が降っていたので、野球の試合は中止された。」
 分詞構文の意味上の主語と文の主語 (the baseball game) が異なる場合は、意味上の主語を分詞の前に明示して独立分詞構文にしなければならない。
a being の前に It (天候を表す非人称の it) を補わなければならない。
b 分詞構文の前に As は不要。
d 分詞構文の意味上の主語は分詞の前に置かななければならない。
- (6) 「彼女は今まで私が会った中で最も魅力的な女性だ。」
 比較級・最上級の後でそれらを強めて「これまで」の意を表す ever の用法。
- (7) 「今までにこんなに面白い話を読んだことがない。」
 強調のために否定語が文頭に出た倒置形の文。「否定語+疑問文の語順」をとる。
cf. Little did I dream of my success in this business.
 (このビジネスで成功しようとは夢にも思わなかった。)
- (8) 「ひろしさんはもう健康診断は済みましたよね。」
 付加疑問文。話し手が聞き手に自分の話の内容についての確認や同意を求める用法。肯定文には否定形の、否定文には肯定形の付加疑問をつけるのが原則。
 問題文は Hiroshi's となっているが、これは Hiroshi has の縮約形なので、これを受けて 'hasn't he?' とする。
 ○ undergo ~ 「~ (= 検査・手術など) を受ける」
 ○ medical examination 「健康診断」
- (9) 「彼は独身だと言ったが、それは真実ではなかった。」
 前の節の一部または全体を先行詞とする非制限用法の which。
a 接続詞がないので不可。

- b 関係代名詞 that には制限用法しかないので不可。
- c what は文の主語・補語・目的語になる名詞節，または挿入句として働く副詞節を作る用法しかなく，このように形容詞節は作らない。

- (10) 「そろそろ新しい事業を始めてもいい頃だ。」
 ○ It is high time S V (過去形) 「…してもいい頃だ」

【5】

解答

- (1) c (2) c (3) c (4) c (5) b
 (6) a (7) a (8) a (9) b (10) d

解説

- (1) 「私はこのパソコンを修理してもらいたい。故障しているようだ。」
 ○ have O 過去分詞 「Oを…してもらう」
 ○ broken 「故障して」
- (2) 「彼女にはしたい縫い物があったので，家にいるのを嫌がらなかった。」
 後に動名詞を直接取るのは mind だけ。
 a care for ~ 「～の世話をする」
 b matter 「重要である」
 cf. It doesn't *matter* much to me. (私にとってはどうでもいいことだ。)
 c mind …ing 「…するのを嫌がる」
 cf. “Do you *mind opening* the window?” “Of course *not*.” [依頼]
 (「窓を開けていただけますか。」「もちろんいいですとも。」)
 cf. “Do you *mind my opening* the window?” “Yes, I do.” [許可]
 (「窓を開けても構いませんか。」「困ります。」)
- (3) 「昨日近所の家に泥棒が入り，金を全部盗まれた。」
 steal が対象とするのは「物」，rob が対象とするのは「人・場所」。
 ○ steal → steal A from B 「B (=人・場所) から A (=物) を盗む」
 ○ rob → rob B of A 「B (=人・場所) から A (=物) を盗む」
- (4) 「社会保障制度が法律と事実上の完全雇用によって確立されているのに，イギリスの生活は向上していない。」
 ○ with O C [分詞・形容詞・副詞辞・前置詞句など] 「OをCの状態にして」
 ここでは，‘譲歩’の意味。
 ○ social security *is established* が潜在するのでCには過去分詞が入る。
- (5) 「英語圏の人々がテレビで見る番組の大部分はアメリカからきたものである。」
 先行詞にあたるものがないので「先行詞+関係代名詞」の働きをする **b** what が正解。
- (6) 「なぜアメリカ政府は国民に銃を持たせるのか。」
 目的格補語に原形不定詞をとるのは **a** のみ。
 a let O … 「Oに…させる」
 b permit O to… 「Oが…することを許可する」

- c allow O to … 「Oが…することを許す」
 - d cause O to … 「Oに…させる原因となる」
- (7) 「彼は彼女が真実を知らされるよう要求した。」
 ○ demand that 節 「…であるよう要求する」
 ‘提案・要望・命令・決定’などを表す動詞の目的語となる that 節内では、should + 原形か、または仮定法現在（原形）が用いられる。
- (8) 「仕事が終わったらまっすぐ家に帰ってくるよ。」
 時を表す副詞節の中では、単純未来を表す will は用いられない。未来の事柄を表すには現在形にする。
 ○ be done with ～ 「～（＝仕事など）を終える」
- (9) 「彼らはあなたの仕事に満足している。」
 please は「～を満足させる」という他動詞なので、「満足する」という意味を表すには be pleased with ～ と受動態にすることが必要。
 a pleasant 「(物事が) 楽しい；愉快的」
 c pleasing 「(物事が) (～にとって) 愉快的」 = giving pleasure
 d pleasure 「喜び」
- (10) 「ギリシア人は偉大な国民であったが、欠点もいくつかあった。」
 ‘譲歩’を表す“形容詞・副詞など + as + S V”の用法。選択肢の他の接続詞はこのような語順をとらない。

16章 総合問題 16

問題

【1】

A.

全訳

①雇用に関する考えにおいてほど、日本人と米国人が大きな違いを示す点はない。日本人は高校や大学を卒業すると、終身雇用を提供してくれるような勤め口を探し求めるのが一般的である。②このため職業の選択は、配偶者の選択と同じぐらいに重要な一歩であり、その選択の結果は配偶者の選択の結果と同じぐらいに長く続く可能性が高いのである。

B.

全訳

モリー・ギルモアが、列車がアーズリー駅に到着するのを待つ間、その表情は穏やかで曇りは見られなかった。③数人の客が彼女とともに待っていたが、彼らは皆、さながら銅像のように1ヶ所に立ったままぼんやりと虚空を見つめていた。モリーは何の気なしにプラットホームを歩き、腕時計を確認し、手提げかばんをしっかりと脇の下にかかえ込み、そうして④太陽が線路の上できらめいていることに注意を向けた。

モリー・ギルモアは長身で細身で容姿端麗な30代の女であった。彼女は長くて艶のある赤褐色の髪を持ち、それをその時々気分に合わせてさまざまな形にしていた。そして彼女はゆったりした服装を好んだ。髪は今日は上げられ、淡い黄褐色の上着が⑤この日の通勤のために選ばれていた。

彼女は典型的な通勤客ではなかった。⑥彼女を他の乗客たちから分け隔てていたものは、彼女がその通勤を楽しみにしているという事実であった。他の乗客たちは皆、いつの間にか無意識に、ただ単に毎日の決まりきった手順に従っているだけであった。モリーはそうではなかった。彼女にとって、マンハッタンは一種の監獄であったが、彼女にとっては脱出のための一手段であった。

列車は線路の長くて優美な曲線を滑って来て、そうして駅に向かうにつれて真っ直ぐに伸びて行った。モリーは列車の正面に付いている丸で囲まれたMの文字が彼女の方へ向かって来る時、その文字をちらっと見た。ドアが左右に開いて客を乗せる時、彼女は車両の横に付けられた名前に目を遣った——地下鉄北通勤線。彼女が車内に踏み込むと同時にドアが背後で閉まり、⑦列車は再び動き出した。

モリーは席の間の通路を下って、右側に空席を見つけた。⑧小声の会話があちこちでささやかれてはいたが、車内に依然として広がっていたのは乗客全体の諦めの雰囲気であった。ウェストチェスター郡が持つ解放感と清潔感は平日のマンハッタンが持つ狂気のような騒々しさに取り替えられようとしていた。

[2]

解答

- (1) a (2) 「全訳」の下線部**b**, **c**, **e**, **f**, **g**, **h**を参照。
(3) c (4) b

解説

- (1) 「人間もまた (a) な動物であるのに疑いの余地はない」という主張を裏付ける具体例が第2文以降に挙げられている。具体例はどれも「自分の領土を守ろうとする人間」についてであるので, a territorial を選ぶ。

○ territorial animal 「領土の動物」《直訳》→「自分の縄張りを守ろうとする習性をもった動物」

a territorial *adj.* 「領土の；土地の」

b contemporary *adj.* 「①同時代の；同時代に存在する ②現代の」

c primitive *adj.* 「①原始の ②原始的な ③根本の；基本となる」

d aggressive *adj.* 「①侵略的な；攻撃用の (⇔ defensive) ②積極的な ③自信たっぷりな」 *cf.* aggression *n.*

- (2) b ◇ the entry of our houses by unauthorized persons 「許可されていない人々による我々の家への侵入」《直訳》

○ entry *n.* *cf.* enter *vt., vi.*

○ the entry of our houses の of は目的格関係を表す。Unauthorized persons enter our houses. の名詞化表現。

cf. 文法的関係を表す of

①主格関係 (of の後ろの名詞が意味上の主語になる)

(a) ‘行為者’ 「～が；～の」

(b) ‘作者’ 「～の著した」

(c) ‘it is ~ of A to …’

「Aが…するのは～である」(Aは意味上の主語の働きをする)

②目的格関係 (of の後ろの名詞が意味上の目的語になる) 「～を；～への」

e.g. ① (a) the rise of the sun (日の出) < The sun rises.

(b) the plays of Shakespeare (シェイクスピアの劇)
< the plays written by Shakespeare

(c) It's very kind of you to help me with my work.
(私の仕事を手伝って下さるなんて親切ですね。)
< You are very kind to help me with my work.

② the writing of a letter (手紙を書くこと) < write a letter

◇ unauthorized *adj.* 「許可のない」

cf. unauthorized ⇔ authorized 「①公認〔認可〕された ②権限を与えられた」
authorize *vt.* < authority *n.*

◇ … is resented as much as the loss of ~ 「…は～の紛失に対してと同じくらい憤慨される」《直訳》

- resent *vt.* 「～に憤慨する」
cf. resent O ('s) ... ing 「Oが…するのをひどく嫌う」
- as much as ～ 「～と同じくらい；～と同様に」
- the loss of ～ の of は目的格関係を表す。lose ～ の名詞化表現。
- loss *n.* 「①失うこと ②敗北 ③損失 ④減少」
- ◇ any property with which they may abscond 「彼らが持ち逃げするかもしれないいかなる所有物でも」《直訳》 which は any property を先行詞とする関係代名詞で、they may abscond with any property という関係になっている。
- property *n.* 「①財産；資産；所有物 ②（～の）所有権 ③特性；特質」
- they = unauthorized persons
- abscond with ～ 「～を持ち逃げする」
- ⑨ ◇ The presence of a stranger in the garden 「庭における見知らぬ人間の存在」《直訳》 The presence of a stranger の of は主格関係を表す。A stranger is present. の名詞化表現。
- ◇ … is generally regarded as a threat, or at least as ～ 「…は普通、脅威として、あるいは少なくとも～としてみなされる」
- regard O as ～ 「Oを～とみなす」 2つの as ～ が続くので注意する。
- threat *n.* 「脅迫；脅し」 *cf.* threaten *vt.*
- ◇ a circumstance requiring investigation 「調査を必要とする状況」
- requiring ～ は a circumstance を修飾する現在分詞。
- investigation *n.* 「調査；取調べ；研究」 < investigate *vi., vt.*
- ⑩ ◇ Those of us who live in towns 「我々のうちで都市に住む者」
- those who … 「…する人々」
この部分が文の主語になっている。
- ◇ accommodate ourselves to some degree to ～ 「～にある程度慣れる」
ourselves と to の間に to some degree が挿入されている。
- accommodate A to B 「AをBに適応させる」
- accommodate oneself to ～ 「～に慣れる；順応する」（≡ adjust oneself to ～）
- to some degree 「ある程度は」（= to some extent）
- ◇ the kind of congestion which seems to be an inevitable consequence of urbanization
「都市化の避けられない結果であるように思われる混雑し過ぎている状態」《直訳》
- a kind of ～ 「～の一種；～のようなもの」
関係詞節で限定されているので a が the となっている。
- congestion *n.* 「混み過ぎていること」（≡ overcrowding）
- inevitable 「①避けられない；必然的な ②お決まりの」
- consequence *n.* 「①結果；成り行き ②帰結；結論 ③（影響の）重大性；重要さ」
cf. consequent *adj.*
- ⑪ ◇ the closer we are packed, the more easily resentful of each other do we tend to become

- the 比較級 …, the 比較級 ~ 「…すればするほど～」
- pack *vt.* 「～を荷作りする；詰め込む」 *n.* 「包み」
- ◇ the more easily resentful of each other *do we tend to become we tend to become* が倒置の形になっていることに注意。
- tend to … 「…する傾向がある；…しがちである」
- become resentful of ~ 「～に憤慨する；腹を立てる」
- ⑧ ◇ *It is probably on this account that* … 「…なのはおそらくこのためである」
- it is ~ that … の強調構文。
- on this account 「この理由で」 (= for this reason)
- cf. account *n.* 「①勘定書；勘定 ②報告；記述；話；釈明 ③考慮；配慮 ④重要性；重大さ ⑤理由；根拠」
- cf. account for ~ 「～の理由を説明する」
- account O C 「OをCだとみなす」
- ◇ many people find life in cities irritating and exhausting
- find O (to be) C 「OがCだとわかる；感じる」
- O = life in cities, C = irritating and exhausting
- irritating *adj.* 「(人を) いらいらさせるような」
- cf. irritated *adj.* 「いらいらした」 < irritate *vt.*
- exhausting *adj.* 「心身を疲れさせる；骨の折れる」
- cf. exhausted *adj.* 「①疲れ切った ②使い尽くされた」 < exhaust [ɪgzɔːst] *vt.*
- ⑨ ◇ *It is also probable that* … 「またおそらく…だろう」
- it は that 節を代表する形式主語。
- ◇ *it is because of the wider spacing between individuals which is usual in the countryside that* …
- 「…なのは、田舎では普通である個人間のより広い距離のせいであろう」《直訳》
- 「…なのは、田舎では普通、個人間の距離によりゆとりがあるからである」
- 「…なのは、田舎では普通、個人間でもっと広い距離をとるからである」
- it is ~ that … の強調構文であることに注意。
- because of ~ 「～のために；～が原因で」 (= due to, owing to, on account of)
- spacing *n.* 「間をあけること；間隔」 < space *n., vi., vt.*
- which は the wider spacing between individuals を先行詞とする関係詞。
- ◇ rural folk are less tense, more neighbourly, and often better mannered than their urban counterpart
- rural *adj.* 「田舎(風)の；田舎の人の；農業の」 (⇔ urban)
- folk *n.* 「①人々 (複数扱い) ② (one's folks で) 両親；家族 ③国民；民族」
- less tense = more relaxed
- tense *adj.* 「①ぴんと張った ②緊張した；張り詰めた；神経質な；(状況などが) 緊迫した」
- mannered *adj.* 「(通例複合語で) 行儀が…の」

e.g. well-mannered 「行儀のよい」 (⇔ ill-mannered)

○ counterpart 「(～に) 対応 [相当] するもの」

rural people に対応して their urban counterpart が続いていると考える。よってここでは urban people の意。

(3) lead to ～ 「①～に通じる；至る ②～を引き起こす；～につながる；結び付く」

a bring about 「～を引き起こす；～を成し遂げる」

b give rise to 「～を引き起こす；～のもとになる」

c keep up with 「①～についていく ② (研究などを) し続ける」

d result in 「～に終わる；～という結果になる」 → 「結果として～を引き起こす」

(4) この as は When animals … fight together, it is rare for them to inflict any serious damage upon one another の内容全体を先行詞とする関係代名詞。

a 暗くなってきたので、私たちはすぐに引き返した。〔理由を表す接続詞〕

b よくあることだが、彼は遅刻した。〔主節全体を先行詞とする関係代名詞〕

c あなたは私の言った通りにすべきだったのに。〔様態を表す接続詞〕

d 彼は賢いが、クラスで首位の成績を取めることは決してないだろう。

〔譲歩を表す接続詞 (形容詞・副詞など + as [though] + S V)〕

全訳

人間もまた、自分の縄張りを守ろうとする習性をもった動物であることに疑いの余地はない。現代の西欧文明のように、原始文明から遠く隔たった環境においてさえも、田舎の土地は柵や生け垣によって境界を定められており、その多くは「無断で立ち入る者は告訴される」という掲示を掲げている。また、㉑人が許可なく我々の住居に入ることは、その人が持ち逃げする可能性のある我々の所有物を失うのと同じくらい怒りを買う。㉒自分の庭に見知らぬ人がいれば、それは脅しとして、あるいは少なくとも調査を必要とする状況だとみなされるのが普通である。そして国家的規模では、敵による自国への侵入は、どちらにも属さない領土で行われる同じ敵との戦いよりも、いっそう激しく攻撃的な反応を引き起こすものである。

他の動物と同じく、人間もまた、過密の状態に対して悪い反応を示す。進んだ文明においては、都市に人々が密集して住んでも、必ずしも食料不足が生じることにはならないが、かつては個人間や集団間に一定の距離をおかせる役目を果たした攻撃性の痕跡を、おそらく認めることができるだろう。㉓我々の中で都市に住む人々は、都市化の避けられない結果であるように思われる過密状態に、ある程度は適応できるようになったが、㉔過密になればなるほど、我々は互いに対してすぐに憤慨してしまう傾向がある。㉕多くの人々が、都市生活にいら立ちと疲労を感じるの、おそらくこの理由のためであろう。というのも、彼らは、ひとえに過密状態の結果として生じる攻撃的な衝動を制御せざるを得ないからである。㉖そしてまたおそらく、田舎の人々の方が都会の人々よりも、のんびりしていて親しみやすく、礼儀正しい場合が多いのは、田舎では普通、個人間でもっと広い距離をあけるからであろう。ご存知のように、過密状態にない同じ種の動物が争い合う時は、お互いに深刻な危害を加えることはまれなのである。

注

0.1 ◇ There can be no doubt that … 「…であることに疑いはあり得ない」

- can は「可能性・推量」を表す。
- doubt と that 節は同格。
- ◇ Even in circumstances *so far removed from the primitive as contemporary Western civilization* 「現代の西欧文明のように、原始文明から遠く隔たった環境においてさえも」
- so ~ as ... 「…と同じくらい～；…のように～」
- removed *adj.* 「(距離・関係が) 遠く離れた；隔たった」
circumstances を修飾している。
- the primitive 「原始的なもの」
'the + 形容詞' で抽象的意味「～なこと；もの」を表す用法。
- contemporary 「①同時代に存在する ②現代の」
- ℓ. 2 ◇ the countryside is demarcated by fences and hedges *many of which* ... 「田舎の土地は柵や生け垣によって境界を定めてあり、そのうちの多くは…」
- the countryside is demarcated by fences and hedges + *many of the fences and hedges* ... と考えられる。
- ℓ. 3 ◇ notices stating that ... 「…と述べている看板」《直訳》
- notice *n.* 「①注目；注意 ②通知；予告 ③掲示；看板；貼り紙」
- stating は notices を修飾する現在分詞。
- that ... は stating の目的語に当たる名詞節。
- ◇ trespasser *n.* 「不法侵入者」
- ℓ. 4 ◇ prosecute *vt.* 「① (調査・研究、事業など) を遂行する；行う ②～を起訴する」
cf. prosecution *n.*
- ℓ. 7 ◇ on a national scale 「国家的な規模においては」
- ◇ the invasion of the homeland by an enemy evokes a more passionately aggressive response than does a battle with the same foe on ~ 「敵による母国への侵略は、～における同じ敵との戦いよりもいっそう激しく攻撃的な反応を呼び起こす」→ 「敵が自国の領土を侵略すれば、その敵と～で戦うよりも、いっそう激しく攻撃的な反応を呼び起こす」
- evoke *vt.* 「① (賞賛・笑いなどを) 引き起こす ② (記憶・感情などを) 呼び起こす」
- than does a battle with ~ = than a battle with ~ does → does は evokes の繰り返しを避けて用いられた代動詞。a battle に長い修飾語が付いているので、does を主語 a battle の前に出した倒置の形をとっている。
- foe *n.* 「敵」 (= enemy)
- ℓ. 9 ◇ territory which belongs to neither 「どちらにも属さない領土」
- ℓ. 11 ◇ the packing together of people in cities 「人々を都市に詰め込むこと」《直訳》
- pack people together in cities の名詞化表現。
- 目的格関係を表す of。
- ◇ does not necessarily ... 「必ずしも…ない」《部分否定》
- ℓ. 12 ◇ detectable traces of the aggressiveness which once served to space out both

individuals and groups of men 「かつて個人間や集団間に間隔を置く役目を果たした攻撃性の、見つけることのできる痕跡」《直訳》

○ detectable *adj.* 「見つけ得る；探知できる」 < detect *vt.*, detective *n.*

○ trace *n.* 「跡；痕跡；形跡」

cf. trace *vt.* 「①～をたどる；探し出す ②（図面など）を敷き写す；トレースする

③（場所・由来・出所まで）～を逆上る」

○ aggressiveness *n.* < aggressive *adj.*

○ serve *vi.* 「①勤務する ②食事の世話をする」

serve as [for] ～ 「③（物・事が）～として役立つ」

serve to … 「④…する役目をする」

○ space out 「～を一定の間隔に置く」

ℓ. 17 ◇ be compelled to … 「…せざるを得ない」（= be forced to, be obliged to）

ℓ. 18 ◇ impulse *n.* 「衝動」

◇ solely *adv.* 「①1人で；単独で ②単に」（= only）*cf.* sole *adj.*

◇ as a result of ～ 「～の結果として」

ℓ. 21 ◇ it is rare, as you know, for them to inflict any serious damage upon one another

○ 主節の内容全体を先行詞とする関係代名詞の as。

○ it は to … を代表する形式主語。

○ for them は to 不定詞の意味上の主語。

○ inflict *vt.* 「①（損害・迷惑など）を与える ②～を苦しませる；悩ませる」

【3】

ポイント

この問題では、動名詞や名詞構文などを利用して、文を簡潔に引き締める工夫をしてみるとよいだろう。例えば、「人と仲良くやっ払いこうとすること」、「人から嫌われることを恐れる」などでこうした形が活用できるだろう。

解答

Young people today do not argue with others very much. (1) Of course, it's all very well to try to get along with others, but some of them seem to be much too afraid of being disliked. (2) They repress themselves in order to avoid conflict, and as a result the people around them never see who they really are.

別解

(1) It goes without saying that trying to get along with others is a virtue, but it seems that some of them avoid arguments because of excessive fear of being unpopular.

(2) By repressing themselves in order to avoid complications, they hide their true selves from the people around them.

解説

(1) 構文の骨組みとしては前半と後半を並列関係の節とし、but で結ぶのが最も自然。前半は「人と仲良くやっ払いこうとすること」を動名詞または不定詞で表して主語とし、

不定詞にするのであれば形式主語 *it* で始めれば書きやすいだろう。後半は「何人かの若者」を主語とし、「…することを恐れている」を後に続けるか、*There are* 構文で始め、関係代名詞を用いて「…する若者もいる」とする構成が考えられる。

○「人と仲良くやっついていこうとすること」は *try to get along with other people [others]* を動名詞、または不定詞にして表せばよい。

○「もちろん結構なこと」「もちろん」は *of course, certainly* など。「結構な」は、*be all very well ; be very good* が簡単だろう。*a virtue (美德；徳目)* とすることもできる。

「もちろん」の意味を強めるために *it goes without saying that …* や *needless to say* を用いてもよい。

○「若者の中には…もいるようである」は *some of them seem to …* で始めてもよいし、*There seem to be some young people who …* の構文も使える。

○「人から嫌われることを極端に恐れる」に近い訳としては *be much too afraid of being disliked* や *have an excessive fear of being disliked* がある。「嫌われる」は *being unpopular (人気がない；評判が悪い)* としてもよい。あるいは発想を少し変えて、冒頭の文の「人と議論をすることが少ない」の内容を踏まえて「人から嫌われることを恐れて議論を避ける」と読み換えて *avoid arguments because of excessive fear of being disliked* としてもよいだろう。

(2) 文の組み立てとしては特に問題ないだろう。前半と後半を等位節としてつなげればよい。別の訳し方として前半も後半も「彼ら」を主語にして、「彼らは…することによって自分の本当の姿を隠してしまう」のようにとらえることもできる。

○「いざこざを避けるために」(*in order*) *to avoid conflict(s)* とすればよい。「いざこざ」は「口論；もめごと；困難な状況」と読み換えて、*conflict(s) ; quarrels ; trouble(s) ; complications* などを用いるとよい。

○「自分を抑える」の「抑える」は *repress* や *restrain*。「自分」は再帰代名詞 *themselves* の他に *their personalities (自分の個性)* のようにすることも可能。なお、ここは節で表現する代わりに *by repressing themselves* と動名詞句を使って表してもよい。この場合は次の「周りの人には彼らの本当の姿が見えなくなってしまう」は *repressing* の意味上の主語と合わせて、主語を「若者」とする文構成となるように注意する。

○「その結果」*and as a result* や *so that* で2つの節を結べばよい。

○「周りの人」*the people around them* または *those around them* が適切。

○「彼らの本当の姿」は節で表せば *who they really are*, 句なら *their true selves* とすればよい。

○「見えなくなってしまう」は「周りの人々」を主語とすれば *never [don't] see ; find it difficult to see* などが考えられる。「若者」が主語なら *hide (隠す)* とする。

【4】

解答

- (1) i - e - g - c - b - j - h (a, d, f が余分)
- (2) h - e - b - f - g - a (c, d, i が余分)
- (3) a - d - f - c - g - h - b - e
- (4) a - h - c - g - d - e - f - b - i (j が余分)
- (5) a - e - c - b - d - f - g (h が余分)

解説

- (1) He was the last person I expected to see.
 - the last ~ 「可能性が最も少ない~」
 - expect to ... 「…するだろうと思う」
 - the last person (that) I expected to see と関係代名詞が省略されている点に注意する。
- (2) One more or less doesn't make much difference.
 - does not make much difference 「あまり重要でない」
 - cf. *make no difference* (重要でない)
- (3) It is only when he needs money that he writes to his parents.
 - It is ~ that ... 「…なのは~だ」(強調構文)
- (4) Most people have a newspaper delivered to their homes instead of buying one at a newsstand.
 - have O 過去分詞 「Oを…してもらう」
 - instead of ...ing 「…する代わりに」
 - one = a newspaper
- (5) Don't fail to learn these basic words by heart.
 - Don't fail to ... 「必ず…しなさい」
 - ※ fail to ... (…しない) を否定することによって、強い肯定の意味を表す二重否定の表現。
 - learn ~ by heart 「~を暗記する」
 - ※ learn ~ by heart は、古風な表現なので、英作文ではあまり用いない。代わりに、memorize ~ を使うこと。ニュージャージー州出身のインフォーマントによると、learn ~ by heart を聞いたのは、小学生の時の1回だけだということである。

【5】

解答

- (1) c (2) b (3) a

解説

- (1) ○ all the better for ~ 「~なのでそれだけいっそう…」
 - the (副詞) 「その分だけ」
- (2) ○ no less a person than A 「Aそのもの；本物のA」
- (3) ○ 否定文, much less ... 「まして…ない」
 - ※ 肯定文, much more ... 「まして…だ」の形は、今日用いられていない。

添削課題

解答・解説

(1) twice [three times etc.] + 名詞句「～倍の…」

- ① Salt was traded at twice the value of gold.
- ② You have *twice the strength* I have.
- ③ His salary is *twice what it was* five years ago.
- ④ She married a man *twice her age*.

(2) A as well as Bの構文。

- ① Animals as well as goods were used as money.
- ② Colds *as well as* flues are serious illnesses.
- ③ Cans *as well as* bottles are prohibited in this concert hall.
- ④ My brother *as well as* you is responsible for it.

A as well as Bが主語の場合、動詞はAに呼応する。また、not only A but also Bを主語にすれば、Not only you but also my brother is responsible for it.となる。

(3) no one [nobody ; nothing etc.] + V …

- ① No one expects governments to maintain gold reserves equal to the currency they issue.
- ② *Nobody said* it was your fault.
- ③ *Nothing is* (ever) going to make him change his mind.

(4) 動詞 replace の用法。

- ① They are gradually being replaced by new forms of money such as train smart cards.
- ② The computers in the classroom *are being replaced* by new ones.
- ③ People often say you can *be replaced* by a computer.

この you は「一般の人々」を表す。can は「一般的・理論的な可能性」を表し、「現実の可能性」には may, might, could を用いる。

cf. The road *can* be blocked. (その道路は通行止めのこともある。)

The road *may* be blocked. (その道路は通行止めになっているかもしれない [これから通行止めになるかもしれない]。)

E3T/E3TK/E3TF

難関国公立大・医学部英語／難関大英語 T

京大英語／難関大英語 T (京大)

一橋大英語／難関大英語 T (一橋大)



Z-KAI

| | |
|------|--|
| 会員番号 | |
|------|--|

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

不許複製